

## 歳入の質疑

(主要部分のみ)

**鷺見委員** 22年度の町税の減額予算の具体的な根拠は。

**早坂主査** 21年度は大規模な建築もあり家屋は2百50万円の増額を見込んだが償却資産の減額分1千1百60万円が主な要因です。

**鷺見委員** 地方交付税は補正等でここ2年間増額されてきているが臨時財政対策債の今後の見通しは。

**藤田主幹** 臨時財政対策債は今年より従来の算出方法を変更し財政力の低い団体には地方財政計画に基づき更に乗せられることになり、7月の交付税算定時に確定されてくると思う。

**無量谷委員** 町税滞納繰越金額5百37万円の納税対策を伺います。

**堤会計課長** 滞納者と相談をしながら分納方式など納税者の生活状況に合わせた町税の収納に努めている。税の公平性の観点からも不公平感の出ない様、収納対策委員会や管内的な研修会

などに参加し担当者も勉強中ですのでご理解いただきたい。

## 総括の質疑

**菅原委員** 平成20年度から24年度までの一般会計の中期財政計画が提出されているが政権交代等で推計に変化があると思うが再提示する考えはないか伺います。

**堤会計課長** 平成20年度中期財政計画作成当時から世界的経済危機や政権交代など国や地方に対する財政出動が大きく変わり中期財政推計に苦慮している。国の財政事情により将来推計が不透明な状況もあるが、政府の動きなど情報を見据えて中期展望を示したい。

**菅原委員** 電源三法交付金について、既定の交付規則を柔軟に地元でより使い易い交付金となる様関係省庁への要請行動をすべきでないか。

**宮本町長** 現状では、病院や保育所の人件費に充当している。交付規則に準じて

いるが、一方で会計検査院の指摘を受けない様配慮している。

**小山副町長** 交付金の自由度を高めようと事業仕分けでも検討されているが町として新たな要請行動をとって行きたい。

**西澤委員** 保育所の時間延長に関し、父母会または個別相談で意見を徴収されたのか伺います。

**瀬戸町民課長** 次世代アンケートの中で意見として午後6時までとか逆に早朝とかの意見はありましたが今年度は定員60名に対し、それに近い応募があり町としては支援体制を充実させるべく保育士7名体制と考えております。延長保育を導入すると更に人員や保育料を加算しなければならず現在国の基準の85%程度の保育料金でも利用者から高いとの意見もあり、今後の認定保育園設置に向けての検討課題と考える。従って現在の対応状況でご理解を願いたい。

**無量谷委員** 町内高齢者のための共同生活施設が必

要と思うが町長の考えを伺いたい。

**宮本町長** 現在こざくら荘でのデイサービスもおこなっているが、介護度の低い方や独居者の方が共同生活できる施設については、今後、幅広く町民の目線に立って検討して参りたい。

**高橋委員** 第5次幌延町総合計画や教育行政方針の中でも青少年の体力や運動能力の向上に努めるとありますがスポーツ少年団への対外試合など町バスの使用等支援が必要と考えるが伺います。

**兜教育次長** 基本的には全道大会の参加には町バスを配置している。19万2千円はスポーツ少年団本部への補助金と全道大会への参加経費7万円として計上している。

**西尾教育長** スポーツ少年団のバス利用については、町側と充分協議をしていきます。

**吉原委員** 今年度から幌延町健康増進計画の策定に取り組むとあるが65才以上の高齢者への健康管理対策

をどう進めて行くか。

**瀬戸町民課長** 例年通り各老人クラブ等への保健師の派遣による健康相談や住宅訪問等で介護状態になる前の健康管理を進めている。**細野保セ所長** 高齢者の方は老人福祉計画や介護保険計画等できめ細く対応しているが、4月当初特定高齢者生活機能評価で回収されたデータを元に事業を展開し一定以上の状態改善をしていますし残りは住民名簿を見て適時訪問・電話連絡等を見ながら安否確認を進めている。



心象館の展示替風景